



無形文化財「日立風流物」

茨城県ニュース No.29

- ・炭鉱地帯の現況
- ・稲田石の採石 ほか

昭和34年度(1959年10月頃)

制作:茨城県秘書公聴課

■不況になやむ炭鉱地帯

- ・北茨城の炭鉱掘削の様子。トロッコによる運搬。従業員家族の生活風景。
- ・茨城県石炭不況対策委員会。石油やガスの台頭による石炭需要の下落の話題。

1959/--/-- 北茨城市

■交通事故防止はみんなの力で

- ・県内各地の交通風景。横断歩道の塗装風景。交通違反取締風景。

1959/--/--

■林業の機械化

- ・森林経営指導所(水戸市千波町)、大子の山林。チェーンソーによる伐採、ケーブルやトラックによる運搬風景。

1959/--/-- 水戸市、大子町

■トピックス:明仁皇太子来県

- ・昭和34年10月10日、明仁皇太子が来県。第3回水産資源保護全国大会及び放魚祭、東海村原子力研究所を視察。

1959/10/10 大洗町

■トピックス:日立風流物

- ・昭和34年5月6日に、国指定重要有形民俗文化財に指定された日立風流物の映像。

※のちに、人形操作などが国指定重要無形民俗文化財に指定された(昭和52年5月7日)

1959/--/-- 日立市

■伸び行く地方産業—稲田石—

- ・稲田石の採石加工風景。使用先の例として、三井信託銀行の建屋外観など。

1959/--/-- 笠間市